

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2017年度第5回運営委員会議事録

日 時：2017年10月13日（金） 14：30～17：00

会 場：学習院大学 中央教育研究棟2階小会議室

出席者：平井久美子（東海大学）、山田和宏（創価大学）、花上真一（聖心女子大学）、
浅尾千夏子（慶應義塾大学）、鈴木努（早稲田大学）、水津みはる（学習院大学）、
武林輝暁（玉川大学）、佐々木俊介（桜美林大学）
【事務局】新井和之、吉田博貴（成城大学）

議事概要：

1. 2017年度研究分科会報告大会について

資料1に基づき、今年度の研究報告大会について報告があり、主に開催通知の送付、申込方法、申込の締切日、定員等について確認した。また、当日のスケジュールや分担、設備の使用等については、11月の運営委員会と代表者合同会議で確認することとなった。

2. 新規研究分科会受付募集について

現時点で新規の申込は無いが、引き続き12月1日まで募集を行うことを確認した。

3. 2017年度オンデマンド研修「図書コース」について

資料2に基づき下記2項目について報告があった。

①第1期受講者の進捗状況について

講習の進み具合にバラつきがみられるが、10月28日までに全ての受講が終了することを修了証発行の条件とすること、また、次年度の品質向上を図るため、最終回の課題の一部にアンケートを追加することを確認した。

②第2期受講者（追加募集）の決定について

追加募集による受講希望者7名については全て受講可とすること、また、既に受講が決定している20名については受講開始の旨を郵送にて通知することを確認した。

4. オンデマンド研修「雑誌コース」製作の進捗状況について

現在10週目までの作成が終わっており、確認できる状況となっている。一通り完成した段階で、運営委員会にて内容の確認を行いたいとの説明があった。

5. 2018年度オンデマンド研修について

資料3に基づき、主に予算について確認した。受講単価の変更要請や雑誌コースの開始により支出の増加が見込まれるため、コンテンツの改修や受講者数の調整については、引き続きIAALとも協議することを確認した。

6. 2018年度研究講演会について

資料4に基づき次年度の研究講演会の内容について検討した。引き続き、講演のテーマについて案を出し合うこととなった。

7. 2018年度地域研修について

資料5に基づき前年度に開催された地域研修の振り返りを行った。引き続き、次年度以降の実施について検討を行い、2018年度については前年度を踏襲して実施することとなった。また、研修委員会は今年が2年目であり今年度末で委員が交替となるため、2018年度開催の大枠については運営委員会で方向性を決め予算化すること、開催候補地はA、C、Dブロック内で検討し、部会長校とも相談しながら決定していくことを確認した。

8. 研究分科会のホームページについて

ホームページ委員会を通じて、東地区部会研究分科会のホームページ運用について業者から得られた情報を共有した。11月の代表者会議でも今後の運用方法や既存ページの移行などについて意見交換を行い、研究部としての案を取りまとめたとの説明があった。

9. 2017年度第2回運営委員・研究分科会代表者による合同会議の開催について

資料6に基づき、合同会議の概要について説明があった。主な議題は報告大会の実施に向けた情報共有と、夏期集中合宿の報告になることを確認した。

10. その他

①2017年度研修会について

今回のクレーム対応研修は募集時から好評であり、規定人数に達したため追加募集は行わなかった旨の報告があった。

②2018年度からの研修委員会について

2018年度の地域研修のテーマと会場校については運営委員会で大枠を決定し、予算化することが確認されたが、細かな内容については次期研修委員会で検討してもらうこととなった。また、将来的には研修委員会の任期2年目に地域研修を開催するなど、サイク

ルの調整についても今後の検討課題として次期研修委員会に打診することを確認した。

③休会中の企画広報研究分科会について

休会中の企画広報研究分科会については代表が図書館外へ異動し、会員の募集活動等が困難となっているため、研究部担当理事校と調整しながら募集活動を行うこととなった。

最後に、本日の資料等で、字句や文言等の修正が必要な個所については、研究部担当理事校で修正の後、再度メールで発信することを確認し、閉会した。

以上